

オープンソースツール: Auto SS Config

Auto SS Config というツールをオープンソース化したことを発表できることを嬉しく思います。このツールは、Shadowsocks の URL から Shadowsocks または Clash のサブスクリプション URL を自動生成し、アップロードするもので、プロキシサーバーの設定を管理・更新するのがより簡単になります。

このツールは、特に Shadowsocks サーバーがブロックされたときに、私にとって革命的な存在でした。Outline Manager を使用して新しいサーバーを作成し、新しいアドレスを取得し、この URL を Mac アプリを使って直接インポートすることで、GFW の制限を回避しています。このプロジェクトから `python upload_configs.py` を実行することで、サブスクリプション URL が更新され、すべてのデジタルデバイスが機能的なネットワーク接続を維持できるようになります。

機能

- **Shadowsocks URL を Clash 設定に変換:** 異なるプロキシ設定を簡単に切り替えられます。
- **複数の Shadowsocks サーバーをサポート:** 複数のサーバーを簡単に管理できます。
- **設定を Google Cloud Storage に自動アップロード:** 設定を安全に保管し、いつでもアクセス可能にします。
- **設定を公開可能にする:** 設定を他の人と共有できます。
- **キャッシュコントロールを使用して即時更新を実現:** 設定が常に最新であることを保証します。

ファイル

- `app_config_tmp.yaml`: アプリケーション設定 (バケット名、SS URL)。
- `clash_config_tmp.yaml`: 一時的な Clash 設定ファイル。
- `upload_configs.py`: Clash 設定を生成し、設定を Google Cloud Storage にアップロードするスクリプト。
- `requirements.txt`: Python の依存関係。

セットアップ

1. **依存関係をインストール:** `bash pip install -r requirements.txt`
2. **Google Cloud の認証情報を設定:**

- Google Cloud SDK をインストールします。
- gcloud auth application-default login を実行します。
- または、GOOGLE_APPLICATION_CREDENTIALS 環境変数を設定します。

3. app_config_tmp.yaml を app_config.yaml にコピーして設定する: yaml bucket_name:
your-bucket-name ss_urls:
- ss://method:password@server:port

使用方法

1. app_config.yaml の ss_urls リストに Shadowsocks の URL を追加する: yaml ss_urls:
- ss://method:password@server:port

2. 設定ファイルのアップロード: bash python upload_configs.py

スクリプトは、両方の設定に対する公開 URL を出力します。

開発

- Python 3.6 以上
- YAML 処理には ruamel.yaml を使用します。
- GCS 操作には google-cloud-storage を使用します。

ライセンス

MIT (マサチューセッツ工科大学)

詳細や貢献については、ぜひリポジトリをチェックしてください！